

ごあいさつ 会長 津本 優子 (島根大学医学部看護学科)



このたび、中国・四国地方会の会長を拝命いたしました、島根大学の津本優子です。森恵子副会長、林健司会計担当、西田佳世学術委員長、黒田寿美恵広報委員長、高橋恵美子監事、大塚監事ほか、総勢 32 名の運営委員で地方会の運営にあたります。どうぞよろしくお願いいたします。

島根大学で本地方会の事務局を担当するのは、平成 28～30 年度の内田宏美会長から実に 9 年ぶりとなります。平成 28 年度は、中国・四国地方会の前身である C 地区（近畿・四国）に地方会が発足して 30 年の節目の年として、30 周年記念事業がありました。その中で、30 年分の学術集会の抄録演題を覚えたてのテキストマイニングで分析し、研究内容がどのように変化してきたのかについて報告したことを、懐かしく思い出しました。それから数年のうちにコロナ禍という大きな危機に直面しましたが、学術集会については毎年開催地の先生方が、オンラインを駆使して継続してこられました。そしていよいよ対面開催が可能となった 2024 年 3 月の学術集会を、ここ島根で迎えることができたことを思うと、本地方会の節目に縁のある地であると実感する次第です。

さて、社会的には物価高や自然災害などの身近な生活が脅かされる状況が起こっています。また、国際的な紛争など、先の見通せない側面がある一方、大阪で開催されている万博では「最先端技術など世界の英知が結集し新たなアイデアの創造発信」と、未来への期待を見ることができます。良くも悪くも未来の予測が難しいと言われる近年において、看護研究はこれまで着実に積み重ねてきた実績のうえに、これからの数十年後を見据えた取り組みを継続していく必要があります。中国・四国地方会もその一端を担っていることを意識し、会の運営を担っていきたいと思います。

第 37 回学術集会が愛媛で開催されました

実行委員長 聖カタリナ大学： 西田 佳世

日本看護研究学会中国・四国地方会第 37 回学術集会を 2025 年 3 月 9 日（日）に愛媛県松山市の聖カタリナ大学松山市駅キャンパスにおいて開催いたしました。メインテーマは、「看護のチカラ 2025 -ひと・まち・いのちを繋ぐ-」とし、『チカラ』には、「知から」、「地から」、そして、看護の価値としての「値から」の意味を込めました。

当日は、299 名（会員 172 名、非会員 68 名、学生 59 名）の皆様にご参加いただきました。学術集会の主役である演題は 70 演題（口演 19 題、示説 51 題）が発表され、次の時代に繋がる研究成果に看護のチカラが溢れていました。特別講演「心理学と看護における対人援助ー『共支』の概念ー」（坂原明先生）、教育講演「看護情報の効率的な利活用がもたらす看護の未来」（岡田みずほ先生）、「臨床知と臨床判断」（内藤知佐子先生）、学術委員会企画学術セミナー「臨床のリサーチクエスチョンを看護研究にどうつなげるかー実践と研究の融合ー」（折山早苗先生）では、ひと・まち・いのちを繋ぐ看護のチカラのヒントになる魅力あふれる内容の講演と演習に引き込まれながら、参加された方々は、楽しく、そして、熱心に耳を傾け、有意義な時間を過ごされていました。

本学術集会の開催にあたり、愛ある EHIME の地域の皆様からも多大なご協力をいただき、ご参加いただきました方々が愛顔で看護を語り合う機会を創ることができました。また、運営委員の先生方、会員の皆様にも、多大なご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。改めて、地方会だからこそそのあたたかな繋がりと看護のチカラを心に刻むことができました。ありがとうございました。

●令和6年度事業報告●

1. 次期運営委員選挙

2. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回

日時：令和6年8月24日(土) 14:30～15:30

方法：ハイブリッド形式

(2) 第2回

日時：令和7年3月8日(土) 15:00～17:00

場所：聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス

2) 学術委員会

(1) 委員会開催

第1回：令和6年8月24日 運営委員会終了後

第2回：令和7年3月8日 運営委員会終了後

(2) 学術セミナー開催：令和7年3月9日(日)

3) 広報委員会

(1) 委員会開催

第1回：令和6年8月24日 運営委員会終了後

第2回：令和7年3月8日 運営委員会終了後

(2) 令和6年度ニュース・レター No.32 を9月に発行。

3. 令和6年度総会開催

日時：令和7年3月10日～令和7年3月19日

場所：会員情報管理システムを利用した議決権行使書による決議とした。

4. 第37回学術集会開催

1) 実行委員長：西田佳世先生(聖カタリナ大学)

2) 開催時期：令和7年3月9日(日)

3) 開催場所：聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス

4) テーマ：看護のチカラ2025
—ひと・まち・いのちを繋ぐ—

●令和6年度会計報告●

【収入の部】

(単位：円)

費目	令和6年度予算	令和6年度実績	差異
前年度繰越金	311,858	311,858	0
地方会補助金	389,500	377,500	-12,000
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
オンライン選挙事務費用	420,000	387,500	-32,500
雑収入	6	66	60
合計	1,421,364	1,376,924	-44,440

【支出の部】

(単位：円)

費目	令和6年度予算	令和6年度実績	差異
事業費	30,000	45,100	15,100
各種委員会活動費	30,000	45,257	15,257
学術集会支援金	150,000	150,000	0
学術集会準備金	300,000	300,000	0
学術セミナー支援金	0	0	0
印刷費	110,000	45,100	-64,900
郵送費	115,000	760	-114,240
人件費	30,000	0	-30,000
事務費	10,000	1,740	-8,260
オンライン選挙事務費用	420,000	370,924	-49,076
次年度への繰越金	226,364	418,043	191,679
合計	1,421,364	1,376,924	-44,440

●委員会より●

【学術委員会】

令和6年度学術セミナーは、「臨床のリサーチエッセンスを看護研究にどうつなげるか—実践と研究の融合—」(広島大学大学院 折山早苗先生)をテーマに開催しました。参加者からは、今後の研究計画の立案や研究の臨床への貢献に繋がるとの声もいただきました。令和7年度は、「地域の健康課題を探究するスコーピングレビュー」を企画しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(委員長：西田佳世)

【広報委員会】

ニュース・レター No.33 をお届けします。今期より、広報委員会は年1回のニュース・レターの発行に加え、ホームページの管理も行うことになりました。必要な情報を皆様に確実にお届けできるよう、努めてまいります。

(委員長：黒田寿美恵)

●令和7年度事業計画●

1. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議

日時：令和7年8月30日（土）12:20～13:00

場所：石川県音楽堂（第51回学術集會会場）

（オンライン併用）

(2) 第2回運営委員会会議

日時：令和8年3月14日（土）時間未定

場所：新見公立大学（仮）

2) 学術委員会

(1) 第1回学術委員会：第1回運営委員会会議終了後

(2) 第2回学術委員会：第2回運営委員会会議終了後

(3) 令和7年度学術セミナー開催：令和8年3月15日（日）

3) 広報委員会

(1) 第1回広報委員会：第1回運営委員会会議終了後

(2) 第2回広報委員会：第2回運営委員会会議終了後

(3) ニュース・レター No.33 September2025 を発行。
学会 HP にアーカイブとして掲載する。

(4) ホームページ更新：随時

2. 令和7年度総会開催

日 時：令和8年3月13日～3月24日

開催方法：会員情報管理システムを利用した議決権行使書による決議とする。

3. 第38回学術集會開催

1) 実行委員長：上山和子先生

（新見公立大学健康科学部 看護学科）

2) 開催時期：令和8年3月15日（日）

3) 開催場所：新見公立大学／地域共生推進センター棟講堂

4) テーマ：地域社会の未来につなぐ看護研究

●令和7年度予算●

【収入の部】

（単位：円）

費目	令和6年度予算	令和6年度実績	令和7年度予算案
前年度繰越金	311,858	311,858	418,043
地方会補助金	389,500	377,500	387,500
学術集會準備金返金	300,000	300,000	300,000
オンライン選挙事務費用	420,000	387,500	0
雑収入	6	66	50
合計	1,421,364	1,376,924	1,105,593

【支出の部】

（単位：円）

費目	令和6年度予算	令和6年度実績	令和7年度予算案
事業費	30,000	45,100	100,000
各種委員会活動費	30,000	45,257	30,000
学術集會支援金	150,000	150,000	150,000
学術集會準備金	300,000	300,000	300,000
学術セミナー支援金	0	0	0
印刷費	110,000	45,100	60,000
郵送費	115,000	760	10,000
人件費	30,000	0	20,000
事務費	10,000	1,740	10,000
オンライン選挙費用	420,000	370,924	0
次年度への繰越金	226,364	418,043	425,593
合計	1,421,364	1,376,924	1,105,593



一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第38回学術集会のご案内

日本看護研究学会中国・四国地方会第38回学術集会を2026年3月15日(日)に岡山県新見市の新見公立大学で開催いたします。

第38回学術集会のテーマは、「地域社会の未来につなぐ看護研究」としました。地域医療・看護の未来につなぐ看護研究の推進を目指し、共生社会実現に向けて次の時代を見据えた看護の力を考える機会にしたいと思います。少子高齢社会における地域共生社会は、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される体制の構築が求められます。看護は、地域の全ての世代にかかわり、ライフステージに応じた多様なニーズや複雑な課題について支援する看護実践力が必要と考えます。

本学術集会では、入院医療だけでなく外来医療、在宅医療など、治療から在宅療養までの切れ目ない継続看護を提供していく上で、地域の健康課題を抽出し、課題解決の方法を模索し追究していくことで、「研究」と「実践」をつなぐ学会になることを期待します。

新見市は、備中国新見庄として高梁川流域の山陽と山陰を結ぶ交通の中間地点にあり、特急やくもで岡山駅から約1時間、開催地は新見駅から車で5分です。

第38回学術集会企画委員、実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

実行委員長 上山和子(新見公立大学健康科学部看護学科)

■プログラム

テーマ：「地域社会の未来につなぐ看護研究」

会期：2026年3月15日(日) 9:30～16:10

会場：新見公立大学地域共生推進センター棟講堂(岡山県新見市西方1263-2 新見駅から車で5分)

○特別講演

テーマ：「半世紀の研究者人生を振り返って」

講師：新見公立大学学長 公文裕巳 教授

○学術セミナー

テーマ：「地域の健康課題を探究するスコーピングレビュー」

講師：聖路加国際大学大学院 大田えりか 教授

○教育講演

テーマ：「超高齢地域社会と在宅看護」

講師：滋賀医科大学医学部看護学科公衆衛生看護学講座 伊藤美樹子 教授

○シンポジウム

テーマ：「看護基礎教育課程における訪問看護」

講師：滋賀医科大学医学部看護学科公衆衛生看護学講座訪問看護学領域 辻村真由子 教授

岡山県看護協会訪問看護総合支援センター

江田純子 センター長

新見公立大学健康科学部看護学科

栗本一美 教授

○一般演題、学生演題

演題募集期間 2025年10月1日(水)～2025年12月5日(金)

事前参加登録期間 2025年10月1日(水)～2026年2月6日(金)

申込方法 詳細はホームページをご覧ください。 日本看護研究学会 → 地方会のご案内 → 中国・四国地方会 → 学術集会



新見市キャラクター
「にーみん」

(社) 日本看護研究学会中国・四国地方会第38回学術集会事務局

新見公立大学健康科学部看護学科 担当：上山和子・栗本一美

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2 新見公立大学キャンパス内

E-mail: jsnr-38@niimi-u.ac.jp

発行 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1 島根大学医学部看護学科基礎看護学講座内

一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局

発行責任者 会長/津本優子 広報委員長/黒田寿美恵